

龙游文库

龙游县地方志编纂委员会

余绍宗日记

余绍宗 著

1923~1927



中華書局

余绍宋日记

余绍宋 著

龙游县地方志编纂委员会办公室整理

第二册
(1923~1927)



图书在版编目(CIP)数据

龙游文库 / 黄国平 余晓主编. —北京 : 中华书局,
2014.12

ISBN 978-7-101-08392-7

I. 龙… II. 黄… III. ①龙游县—地方史—史料
②中国文学—作品综合集 IV. Z121.7

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 249935 号

责任编辑:李肇翔

龙游文库·余绍宋日记

黄国平 余 晓 主编

*

中 华 书 局 出 版

(北京市丰台区太平桥西里 38 号 100073)

<http://www.zhbc.com.cn>

E-mail: zhbc@zhbc.com.cn

杭州杭新印务有限公司印刷

*

787 * 1092 1/16 110.5 印张 1700 千字

2012 年 10 月第 1 版 2012 年 10 月第 1 次印刷

印数:2000 册 定价:500.00 元

ISBN 978-7-101-08392-7

目 录

第一册

《龙游文库》总序	徐 旭 1
读《余绍宋日记》话旧(代序)	刘衍文 3
标点说明	19

1917 年

1 月	1
2 月	5
3 月	10
4 月	13
5 月	16
6 月	19
7 月	22
8 月	29
9 月	33
10 月	37
11 月	39
12 月	42

1918 年

1 月	45
2 月	49
3 月	52
4 月	55

5月	57
6月	61
7月	67
8月	72
9月	78
10月	81
11月	85
12月	88
1919年	
1月	91
2月	94
3月	97
4月	100
5月	103
6月	106
7月	109
8月	111
9月	113
10月	115
11月	117
12月	119
1920年	
1月	121
2月	124
3月	126
4月	129
5月	132
6月	136
7月	139
8月	144

9 月	147
10 月	150
11 月	153
12 月	156
1921 年	
1 月	161
2 月	165
3 月	167
4 月	171
5 月	176
6 月	181
7 月	186
8 月	191
9 月	195
10 月	202
11 月	206
12 月	211
1922 年	
1 月	216
2 月	219
3 月	225
4 月	241
5 月	250
6 月	263
7 月	284
8 月	292
9 月	306
10 月	319
11 月	327
12 月	335

第二册

1923 年

1 月	341
2 月	348
3 月	354
4 月	362
5 月	382
6 月	387
7 月	391
8 月	396
9 月	402
10 月	407
11 月	415
12 月	421

1924 年

1 月	426
2 月	432
3 月	436
4 月	441
5 月	446
6 月	452
7 月	455
8 月	458
9 月	461
10 月	465
11 月	469
12 月	471

1925 年

1 月	477
-----------	-----

2 月	483
3 月	487
4 月	490
5 月	495
6 月	502
7 月	506
8 月	512
9 月	516
10 月	521
11 月	526
12 月	530
1926 年	
1 月	534
2 月	537
3 月	541
4 月	546
5 月	552
6 月	556
7 月	560
9 月	564
10 月	566
11 月	572
12 月	576
1927 年	
1 月	582
2 月	589
3 月	594
4 月	598
5 月	601
6 月	611

7 月	617
8 月	621
9 月	627
10 月	631
11 月	638
12 月	645

第三册

1928 年

1 月	651
2 月	667
3 月	675
4 月	684
5 月	711
6 月	738
7 月	758
8 月	764
9 月	770
10 月	775
11 月	782
12 月	786

1929 年

1 月	793
2 月	799
3 月	803
4 月	808
5 月	812
6 月	818
7 月	827
8 月	833

9 月	838
10 月	842
11 月	847
12 月	860

1930 年

1 月	864
2 月	867
3 月	871
4 月	876
5 月	880
6 月	886
7 月	890
8 月	892
9 月	897
10 月	903
11 月	912
12 月	919

1931 年

1 月	932
2 月	939
3 月	944
4 月	947
5 月	951
6 月	955
7 月	959
8 月	964
9 月	968
10 月	973
11 月	975
12 月	980

第四册

1932 年

1 月	987
2 月	992
3 月	997
4 月	1002
5 月	1006
6 月	1012
7 月	1019
8 月	1025
9 月	1031
10 月	1041
11 月	1052
12 月	1059

1933 年

1 月	1066
2 月	1073
3 月	1079
4 月	1086
5 月	1091
6 月	1098
7 月	1105
8 月	1109
9 月	1119
10 月	1124
11 月	1131
12 月	1137

1934 年

1 月	1143
-----------	------

2 月	1148
3 月	1154
4 月	1159
5 月	1169
6 月	1175
7 月	1180
8 月	1183
9 月	1190
10 月	1199
11 月	1211
12 月	1219
1935 年	
1 月	1229
2 月	1235
3 月	1240
4 月	1253
5 月	1266
6 月	1274
7 月	1283
8 月	1290
9 月	1298
10 月	1304
11 月	1315
12 月	1322

第五册

1936 年

1 月	1329
2 月	1335

3 月	1339
4 月	1344
5 月	1354
6 月	1359
7 月	1365
8 月	1375
9 月	1382
10 月	1387
11 月	1392
12 月	1396

1937 年

1 月	1401
2 月	1406
3 月	1410
4 月	1417
5 月	1425
6 月	1430
7 月	1436
8 月	1439
9 月	1444
10 月	1449
11 月	1458
12 月	1464

1938 年

1 月	1469
2 月	1473
3 月	1477
4 月	1482
5 月	1486
6 月	1489

7 月	1492
8 月	1496
9 月	1498
10 月	1502
11 月	1507
12 月	1509
1939 年	
1 月	1512
2 月	1518
3 月	1523
4 月	1528
5 月	1532
6 月	1537
7 月	1541
8 月	1546
9 月	1551
10 月	1556
11 月	1562
12 月	1567
1940 年	
1 月	1570
2 月	1574
3 月	1576
4 月	1580
5 月	1584
6 月	1588
7 月	1592
8 月	1595
9 月	1598
10 月	1601

11 月	1605	
12 月	1610	
1941 年		
1 月	1613	
2 月	1618	
3 月	1621	
4 月	1625	
5 月	1630	
6 月	1633	
7 月	1636	
8 月	1639	
9 月	1643	
10 月	1646	
11 月	1652	
12 月	1656	
1942 年		
1 月	1661	
2 月	1664	
3 月	1667	
人物索引		1671
先祖父越园公及其日记		余子安 1709
后记		1714

民国十二年

一月

一日，旧十一月十五日，晴。在杭州江干。早起为义大行作联两副，皆篆文，联语皆自制。今日本拟入城，以系阳历元旦，懒于贺年，又虑人事纠缠，稽我北行时日，遂决不入城。陈哲侯、陶叔惠、李君辨先后出城来会，中午在义大行设席款待诸君，报其赠我寿仪也。吴守澄、王观煦来谒，王澄明昆季约往龙珠家夜饮，肴饌颇精，极致殷勤之意。十一时许，徐玉珩、吴子周来，因洗盏更酌，欢饮至三时始归寓，夜虽深而不觉其倦，乐可知也。陈、陶两长并沈道尹本约晚饮王氏山庄，辞之。为友生作介绍书两通致周子豪、阮荀伯，为亨弟作书致蒋邦彦。

二日，旧十一月十六日，晴。六时即起，乘火车赴沪，仲弟同行，十二时到上海。下午三时梅伯孙来，同赴一乐也理发，旋到新世界一游，看筹賑会所陈列书画，凡百餘纸无一足观者。六时到美丽川菜馆吃饭，饭毕往新舞台看济公活佛新剧，情节纰缪可笑，惟布置极新奇，上海人见识固如此。

（本日有眉注：寓四马路振华旅馆。）

三日，旧十一月十七日，晴。连日甚辛苦，只得在上海少住，仍不拜客，免纠缠也。施芍孙来，梅柏孙来，同往小有天便酌，旋到书肆购书，又往大世界一游。毓弟来。夜车湛清招饮东亚饭馆，饭毕又往共舞台看男女合班做新戏，演张欣生弑父事，此甚有伤风化，且事实太近，不知上海人何以嗜之。在东亚饭馆初识唐宝堂，来往皆其汽车所送。

四日，旧十一月十八日，晴。早起，九时赴车站，梅柏孙、车湛清、施芍孙同仲弟相送，九时三十分开行。

五日，旧十一月十九日，晴。在车中阅梁漱溟所著《东西文化及其哲学》，论孔教甚有见地，其他与余所见颇有异同，他日再写出，当与商榷。夜十一时半到前门车站，仲先、啸云、朴庵来迎。

六日，旧十一月廿日，半阴晴，有风。八时起，胡子贤来，刘仲缙来。下午料检两月来用账，检阅两月来信札，戴君亮来。夜江翊云约往朱幼芬家便饭，即曩日像姑堂子也，民国以来不许其营业，操斯业者日就衰微，至今

仅馀一二家，然已大非昔日之旧矣。追念前尘，伤心往事，又不胜今昔之感。饮至十一时始归。

七日，旧十一月廿一日，阴，有雪意。九时始起，王朴庵来，祁劲庵来，林宰平来，滕俊侯来，张完白来，卢燮机来。作书复石述彭、汪纪庚、郭芸夫、萧厚栽、詹肖鲁、叶柳宅、凌励深、经寿庵、徐心庵，作片致小秋及家中，又作片复熊韵泉、袁烈青、徐仕钟。夜同姬人到开明戏院看电影，演《孤儿历险记》。

八日，旧十一月廿二日，晴。九时始起，到修订法律馆晤陆棣威、石友儒、黄晦闻、郑荊庭，到司法部晤胡子贤、汤芸郁、王少全、潘安素、林宰平、汪寿彝、何枚如。四时入浴理发，王朴庵来。夜刘崧生电告来访，以今日糊裱书斋未就，因往访之，谈至十一时半始归。

九日，旧十一月廿三日，晴，有风。八时起，祝葆谌来谈，姜渭贤来谈，因约其帮修邑志。作书复仲弟、魏世杰、汪志庄、吴桃三、张清濂、苏琢章、金筱甫并与两儿信，作书致祝劼庵报告办法，致铁斋弟信。夜约王朴庵、梁思孝、方仲先、胡啸云便饭。

十日，旧十一月廿四日，晴。八时起，作书致砺深、枚叔，复芸夫，又作书致陈哲侯、陶叔惠、李君辨。到馆，中午法学会会食，到看守所探罗文干总长，渠精神尚好，惟多愤激语。到司法部晤子贤、芸郁、宰平。芸郁之友龚际可是军队中人，其父能作篆书，余曾赞其知用笔，际可闻之甚喜，复以其父遗墨两种见贻，又令其弟作画一帧相赠，意亦可感也。五时归，作书致梅柏孙、施芍孙、车湛清、柴映波、曹更生。夜王貽孙自天津来，携来钟琴庄赠画、心庵赠刻石九方，作书谢心庵。王朴庵来谈。调印泥，新旧两种混合，试印如次：

